

# 7部

卒業と  
資格・免許状  
取得のために

# 1 // 2022年3月卒業希望の方へ

## 1 卒業式（学位記・卒業証書授与式）について

挙行日 3/17(木)

日程 10:00~10:30 入場

11:00 卒業式（学位記・卒業証書授与式）

※式典は30分程度を予定しております。

会場 福聚殿（本学国見キャンパス。通学課程と合同）

※時間等は変更になる場合があります。詳細は「卒業確定通知」をご確認ください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、急遽中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※開催の有無については、大学のHPおよび通信教育部HPにてご確認をお願いいたします。

※卒業祝賀パーティーは開催いたしません。

※参加は卒業生のみとなります。同伴者は入構できません。

●卒業式を欠席される方 「学位記・卒業証書」を3/17以降にお送りします。詳細は「卒業確定通知」をご確認ください。

## 2 卒業までのスケジュールについて

『With』151号p.45に記載がありますので、ご確認ください。

1/15・2/5などの各卒業判定日以降、卒業要件を満たした方に対して「卒業要件達成のお知らせ」をお送りします。また、「卒業確定通知」は3月上旬にお送りします。

卒業試験受験者で卒業を延期する方は、『With』152号巻末の「卒業延期願」を2/20までに提出してください。

## 2 2022年9月卒業希望の方へ

本年9月卒業希望者は2月科目修了試験以降、「卒業試験」が受験可能です。希望者は今号以降の『With』3部をご覧くださいお申込みください。

卒業についての概要は『学習の手引き』、卒業に関するスケジュールは3月下旬発行の『試験・スクーリング情報ブック2022』でご確認ください。

## 3 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連 問い合わせ先 [uj@tfu-mail.tfu.ac.jp](mailto:uj@tfu-mail.tfu.ac.jp)

### 1 発送物のご案内

発送物	対象者	発送(予定)日
「実習先」内諾通知	実習申込が受理された方	施設より「内諾回答書」が届いてから発送
実習申込受理通知ほか ※『With』151号 p. 48参照	判定日1/31で申込受理or不受理の方	2/15
「'09～」演習A」スクーリング結果通知	1月仙台会場受講者	2/22

## 2 2021年度より適用の新カリキュラムに伴う 国家試験、および教育内容の見直しについて

6部 p.41をご参照ください。

## 3 「'09～演習B」申込みについて

開講日 (仙台：仙台駅東口キャンパス) 5/14・15 or 5/28・29 or  
6/4・5

(新潟：新潟医療福祉カレッジ 2号館) 6/25・26 (予定)

※新潟会場の日程は変更となる可能性があります。

※新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド・スクーリング  
やリモート授業に代替する可能性があります。

申込方法 申込用紙(本冊子巻末)の提出

申込締切 3/15必着(受講判定日3/15・4/15)

受講条件 『レポート課題集A 2021』p.175参照

スクーリング受講上の注意点 社会福祉援助技術の関連知識について、復  
習を十分行ってからの受講を推奨します(スクーリング試験が  
ソーシャルワーク実践に関する基本的な知識の確認テスト(○  
×式や用語等の記述)のため)。

申込上の留意点 下記につきまして、よろしくお願ひします。

- ①仙台会場の希望者は、いずれの日程でも受講できるよう、日  
程調整をお願いします。
- ②申し込みが多数の場合、受講条件を早く達成された方から受  
付し、定員から漏れた方には次回(9/15締切)以降に再度  
お申ひいただきます。
- ③本年9月に実習申込を行う予定の方は、次回9/15締切の申  
込でも間に合います。

## 4 2022年度の実習申込が受理された方へ

### ●送付物について

・『With』151号 p. 48をご参照ください。

### ●「09～実習指導B」「09～演習C」スクーリング申込について

・申込用紙は「実習指導A」スクーリング時に配付します。

## 5 「演習C」(分割型)スクーリング申込みについて (実習免除者・科目等履修生での実習希望者用)

開講日 申込用紙(本冊子巻末)参照

※分割型スクーリングの仙台会場の開講はありません。

※新型コロナウイルスの影響によりオンデマンド・スクーリング  
やリモート授業に代替する可能性があります。

申込方法 申込用紙(本冊子巻末)の提出

申込締切 4/1必着

受講条件 『レポート課題集A 2021』p.183参照

注意事項 科目等履修生での実習希望者は、次項「6 科目等履修生での  
実習受講について」をご確認ください。

## 6 科目等履修生での実習受講について

2021年度より施行の法改正により、科目等履修生として1年間で「実習科目」を受講する方法は、2023年4月の再入学までとなる予定です。

## 4

# 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験受験希望の方へ【重要】

### ●「国家試験」の受験状況をお知らせください

【対 象】社会福祉士・精神保健福祉士養成課程を終え、3月末に卒業（修了）する方（国家試験受験者・未受験者いずれも）。

【提出物】「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」

※本冊子巻末（『学習の手引き』巻末様式5 or 『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』巻末様式15でも可）

【提出期間】試験日～2/28（早めのご提出にご協力ください）

※上記の手続きによって、大学から「社会福祉振興・試験センター」へ、下記証明書を発送します（3/17(卒業日)以降。手数料無料）。

→「指定科目履修証明書（卒業証明書を含む・国家試験受験用）」

※国家試験合格者に対し、「社会福祉振興・試験センター」より上記証明書を提出するよう通知がありますが、本手続きにより完了いたします。

※国家試験に合格しても3月末までに卒業しない場合は、合格が取り消されますのでご注意ください。

### ●修得単位の管理について【再掲】

国家試験受験資格および卒業要件を満たせる状況かを再度ご確認ください（スクーリング受講、科目修了試験受験、レポート提出に漏れないか。特に再提出になっているレポートや、不合格になったスクーリングや科目修了試験はないか）。

※指定科目（『学習の手引き』参照）を含む修得単位については、ご自身での管理が必要です。

※ご自身で確認したうえで、ご不明な点は実習係にお問い合わせください。

## 5 精神保健福祉士 取得希望の方へ

～'11 : 2011年度以前入学者

'12～ : 2012年度以降入学者（2021年度入学者は、2・3年次編入学者が対象）

'21～ : 2021年度以降入学者（2021年度入学者は、1年次入学者が対象）

精神保健福祉士関連 問い合わせ先 : [psw@tfu.ac.jp](mailto:psw@tfu.ac.jp)

※メールアドレスのドメインが一部省略されました。

以前のアドレス（[psw@tfu-mail.tfu.ac.jp](mailto:psw@tfu-mail.tfu.ac.jp)）でもご利用可能です。

### 重要なお知らせ

#### 1 2012年度以降入学者向けの演習・実習受講条件の見直しについて

2021年3月10日発行の『With』148号 p. 68-69にてご案内のとおり、2021年度の1年次入学者より段階的に適用となる新しいカリキュラムの演習が始まる2022年度に合わせて、2012年度以降入学者向けの演習・実習の受講条件を、下記のとおり変更させていただきます。

#### <2012年度以降入学者適用カリキュラム演習・実習受講条件>

[2022年4月1日より適用]

- ・実習免除者：『学習の手引き』（2021年度入学者用） p. 116  
(3)-2-① 2・3年次編入学者 履修の流れ（実習免除者）参照
- ・実習受講者：『学習の手引き』（2021年度入学者用） p. 117  
(3)-2-② 2・3年次編入学者 履修の流れ（実習受講者）参照

※カリキュラムの異なる2021年度1年次入学者を除く、2012年度以降入学者全員（1年次入学者・2年次編入学者・3年次編入学者）が対象となります。

※『学習の手引き』（2021年度入学者用）については、本学通信教育部ホームページ「在学生の方へ」より、『学習の手引き2021』をご参照ください。

※演習・実習の申込みは、引き続き本コーナーにてご案内するとともに、受講条件をその都度提示しますので、『With』が届きましたら、必ず本コーナーをご一読ください。

### ● 発送物のご案内

科目名・発送物	対象者	発送(予定)日
「'12～」精保演習C-1+実習指導B-1」スクーリング受講通知+実習B関連書類	2022年度「精保実習B」受講予定者	3/4

## 【2011年度以前入学者へのご案内】

※1年次入学者・2年次編入学者のみ

### 1 2022年度「'11」精保演習」スクーリングの申込みについて

次回の開講時期・申込方法等は、2022年3月発行予定の『With』154号にてご案内予定です。

## 【2012～2021年度入学者へのご案内】

※2021年度入学者は、2・3年次編入学者が対象

### 1 2022年度「'12～」精保演習A」スクーリングの申込みについて



次回の開講時期・申込方法等は、2022年3月発行予定の『With』154号にてご案内予定です。

## 2 次年度（2022年度）「'12～精保実習A」を受講予定の方へ

### 1) 受講条件について

2021年度内（2022年3月末まで）の受講条件は、入学時に配付された『学習の手引き』をご参照ください。

### 2) 「'12～精保演習B-1+実習指導A-1」（精保実習A事前指導）スクーリングについて

開講時期等は、「次年度実習ガイダンス」（Web同時双方向型で実施予定）にてご案内予定です。ガイダンスの日程は、決まり次第、対象者の皆様へ通知させていただきます。

## 3 次年度（2022年度）「'12～精保実習B」を受講予定の方へ

### 1) 受講条件について

2021年度内（2022年3月末まで）の受講条件は、入学時に配付された『学習の手引き』をご参照ください。

### 2) 「'12～精保演習C-1+実習指導B-1」（精保実習B事前指導）スクーリングについて

開講時期等は、「次年度実習ガイダンス」（Web同時双方向型で実施予定）にてご案内予定です。ガイダンスの日程は、決まり次第、対象者の皆様へ通知させていただきます。

## 4 「'12～精保演習C（実習免除者用）」スクーリングの申込みについて

次の開講時期・申込方法等は、2022年3月発行予定の『With』154号にてご案内予定です。

### 【2021年度入学者へのご案内】

※1年次入学者のみ対象

## 1 2022年度「'21～ソーシャルワーク演習」スクーリングの申込みについて

開講時期・申込方法等は、2022年3月発行予定の『With』154号にてご案内予定です。

# 6 幼保特例講座受講の方へ

### ●4月生の方へ

- ・今年度最終の第6回科目修了試験は、2/9が申込締切です（本冊子3部参照）。
- ・保育士資格取得希望で「乳児保育」の代替オンデマンド・スクーリングを受講した方は、2月末までにレポート提出、またはWebレポートに合格してください。
- ・「TFUオンデマンド」でのWebレポートの配信は、レポート提出期限である2月末に停止します。
- ・『With』152号 p. 56もご確認ください。

### ●「乳児保育」の代替オンデマンド・スクーリングを受講した方へ

スクーリング評価の通知を、1/11に発送いたしました。なお、「TFU

オンデマンド」の「Web履修状況票」でもご確認いただけます。

●すべての単位修得が終わった方へ

- 1) 学生証返納・修了手続きが必要です。『学習の手引き』巻末様式15または様式19を、学生証貼付のうえ大学へお送りください。様式15をご利用の場合は、通帳のコピー（表紙不可）も同封してください。
- 2) 幼稚園教諭免許状の申請、または保育士試験の受験申請の際には、証明書の発行申込みが必要です。以下を大学へお送りください。
  - ①「各種証明書申込書」（本冊子巻末または『学習の手引き』巻末様式8）
  - ②証明書発行手数料分の定額小為替
    - ・幼稚園教諭免許状申請用「学力に関する証明書」：600円
    - ・保育士試験受験申請用「保育士試験免除科目専修証明書」：300円
  - ③返信用封筒（返信先記入・84円切手貼付）

## スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●高齢者福祉論 石附 敬

- ・初めてのオンデマンドスクーリングがこの科目で良かったと感じています。担当していただいた石附先生の解説も大変わかりやすく、その解説で興味を持った内容を教科書でさらに掘り下げながら学ぶ事が出来ました。高齢者虐待の問題など、本人だけでなく介護する家族のサポートも大切なのだと知ることが出来ました。
- ・教科書に載っていない事例を扱っていた部分が良かったです。講師の方の体験談も興味深く聞けました。
- ・エイジズムは、他人ばかりではなく、自分の心の中にも存在すると感じる。サクセスフル・エイジングにするために、生きがいをもち、生活の質を充実させていく工夫をしていきたいと思いました。
- ・自分自身の老いについての捉え方をみ直すきっかけとなりました。また、事例紹介の中で、南さんの人生と最後の次世代に向けてのメッセージが非常に感動し、心に残りました。

### ●児童・家庭福祉論 竹之内 章代

- ・講義のねらいを最初に話してもらえたことで、ポイントが絞られて理解しやすかった。元々虐待問題について関心を持っていたが、他にも障害がある子どもへの支援について、問題行動は誰にとっての「問題」なのかといった話があり、障害の有無や、子どもか大人かということ関係なしに、誰に対応する場合でも当てはまる考え方だと感じた。
- ・子育てしていた頃には分からなかった環境的配慮や仕組みについて深く理解でき、更に興味を持ちました。また、子育ての細かい法律やシステムについても理解を深めることが出来、良かったと思っています。特に、DVやひとり親の家庭を保護するシステムとその現状と課題など、現実起こっている事柄についても考えさせられました。
- ・DVや虐待は被害者だけに寄り添うのではなく、加害者のケアや支援も必要だという点が考えさせられました。加害者の問題を解決することによって、結果的にDVや虐待を解決する道が開けることもあると思いました。